

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2003-202093 (P2003-202093A)

【公開日】平成 15 年 7 月 18 日 (2003.7.18)

【出願番号】特願 2002-278254 (P2002-278254)

【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 L 21/04

E 2 1 D 9/06

F 1 6 L 1/00

F 1 6 L 1/024

【F I】

F 1 6 L 21/04

E 2 1 D 9/06 3 1 1 A

F 1 6 L 1/00 M

F 1 6 L 1/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 16 日 (2005.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

次いで、受口 3 内面と挿口 2 の外面との間にバックアップリング 7、シール用ゴムリング 4 及び割輪 5 b を配置し、ボルト 5 a を押輪 5 及び受板部材 9 に挿通して締結し押輪 5 を適当な締め付け力で締付けることによって継手を接続する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

ここで、図 1 4 (イ) に示す押輪 1 5 は、挿口 2 外周に巻き締め固定される二つ割りないしは四つ割りとされ、内面に周方向凹溝 1 7 を有し、周方向凹溝 1 7 内に、挿口 2 外面に係合する爪片 1 8 a を有する入り込み防止部材 1 8 が収納され、セットボルト 1 9 で径方向へ締め付けることでより強力な推進力が発揮されるようにされている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

図 1 4 (ロ) に示すものは、セットボルト 1 9 の締め付け方向を挿口 2 の管軸に対して傾斜させ、入り込み防止部材 1 8 内面に形成される爪片 1 8 a を二条設けることで、入り込み防止力が発揮されるようにしたものである。